平成22年度
海外ビジネスネットワーク構築委託事業
販売拠点構築

ロシア連邦
（モスクワ・サンクトペテルブルグ）
における実施報告書

平成22年12月度

株式会社　日ソ貿易

1．12月総評

12月は、日本でいう”年末の書き入れ時”に当たることから一般に高い商品が売れることから、単月ベースでの売上数量・金額ともに最も大きく期待できる月である。

著名で影響力のあるワイン評論家ロバート・パーカー氏が最も素晴らしい日本酒だと推奨している西山酒造（兵庫県）の“路上有花”を中心とした試飲フェアーを開催して、高単価な日本酒の安定した販売を行った。

モスクワでは上記のような高価な日本酒を取り扱う高級レストランがけん引役となり、日本酒の普及に貢献している。

しかしロシア第2の都市であるサンクト・ペテルブルグはモスクワに比べ日本酒の浸透に差があることが、これまでの試飲フェアー等を行った結果わかってきた。

来月以降も直接販売を行っている従業員に対し、来場客へ試飲をさせる等の販促に繋がる方法の教育を強化し、着実に売上に結び付くようにしていくことが必要である。

2. 平成22年8月-12月の販売品目

先月に引き続き下記の日本酒類中心にその他関連食品の販売を行った。
①酒・アルコール類は船便のみで輸送が可能（航空便は不可）
②事前の銘柄ごとの輸入許可申請に1ヵ月半～2カ月必要
この2つの事由により、昨年度よりエントリーのあった下記の表の銘柄について、8月から12月まで販売する予定（募集は10月末で終了）。
今年度選定する銘柄については、6月以降の期間エントリーのあったもの中から選定し、年内に販売できるようモスクワおよびサンクトペテルブルグへ到着で手配する予定。

No.	生産地：	銘柄数	所属団体 または会社名：		商品　：
1	兵庫県丹波市	2	株式会社西山酒造場	1	小鼓 路上有花
				2	小鼓 純米吟醸
2	岐阜県	3	天領酒造　株式会社	3	純米吟醸 ひだほまれ天領
				4	純米吟醸 純米吟醸生貯 天領
				5	純米酒 純米にごり 天領
3	岡山県赤磐市	3	室町酒造株式会社	6	櫻室町 純米吟醸　備前幻
				7	甘熟とろける 清水白桃酒
				8	とろとろ蜂蜜 しょうが酒
4	沖縄県	3	瑞泉酒造株式会社	9	瑞泉古酒40度
				10	長期熟成古酒 瑞泉「青龍」
				11	瑞泉ホワイト 30度
5	岩手県	1	株式会社南部美人	12	南部美人 純米大吟醸
6	愛知県	2	中埜酒造株式会社	13	梅本家おばあちゃんの 梅酒　実入
				14	梅本家おばあちゃんの 梅酒
7	山口県	1	旭酒造株式会社	15	獺祭　磨き3割9分

12月のお酒はこれ！！西山酒造（兵庫県）

3. 販売実績 ― 12月分店舗(エリア)別

販売期間: 12/1~12/31			12月平均レート 2.702				販売合計 ¥774,248					
商品名	規格	ジャプロ(モスクワ)				レンド(SPb)				業務用販売			
		商品単価 (Rub)	販売数量	合計金額 (Rub)	合計金額 (JPY)	商品単価 (Rub)	販売数量	合計金額 (Rub)	合計金額 (JPY)	商品単価 (Rub)	販売数量	合計金額 (Rub)	合計金額 (JPY)
賞宿梅緑茶梅酒	720 ml	1,090.00		0.00	¥0	1,092.15	2	2,184.30	¥5,902	870.00	6	5,220.00	¥14,104
賞宿梅梅酒キュビテーナ	20,000 ml	-				-				6,450.00	1	6,450.00	¥17,428
梅本家 おばあちゃんの梅酒	720 ml	1,145.00		0.00	¥0	1,609.00	1	1,609.00	¥4,348	906.00	4	3,624.00	¥9,792
梅本家 おばあちゃんの梅酒 実入	1600 ml	2,395.00	2	4,790.00	¥12,943	2,229.00	2	4,458.00	¥12,046	1,932.00	2	3,864.00	¥10,441
南部美人 純米大吟醸	720 ml	6,410.00		0.00	¥0	5,969.00		0.00	¥0	4,330.50		0.00	¥0
樫室町とろとろ蜂蜜しょうが酒	300 ml	790.00	4	3,160.00	¥8,538	1,379.00		0.00	¥0	650.00	8	5,200.00	¥14,050
樫室町甘熟とろける清水白桃酒	300 ml	790.00	4	3,160.00	¥8,538	1,379.00	3	4,137.00	¥11,178	650.00	3	1,950.00	¥5,269
樫室町純米吟醸備前幻	720 ml	1,485.00	17	25,245.00	¥68,212	1,809.00		0.00	¥0	1,200.00	3	3,600.00	¥9,727
瑞泉5合壹	900 ml	2,900.00	4	11,600.00	¥31,343	1,759.00		0.00	¥0	2,500.00		0.00	¥0
瑞泉ホワイト	720 ml	1,100.00	16	17,600.00	¥47,555	1,349.00	2	2,698.00	¥7,290	900.00	2	1,800.00	¥4,864
瑞泉古酒40度	720 ml	1,435.00	13	18,655.00	¥50,406	1,349.00		0.00	¥0	1,200.00	5	6,000.00	¥16,212
小鼓 純米吟醸	720 ml	1,560.00	10	15,600.00	¥42,151	1,919.00	3	5,757.00	¥15,555	1,250.00		0.00	¥0
路上有花	720 ml	4,500.00	3	13,500.00	¥36,477	6,449.00	1	6,449.00	¥17,425	4,000.00	14	56,000.00	¥151,312
ひだほまれ 天領(竹かご入り)	720 ml	1,584.00	3	4,752.00	¥12,840	2,839.00		0.00	¥0	1,300.00	5	6,500.00	¥17,563
吟醸純米 生貯蔵酒 天領(箱なし)	720 ml	1,184.00	16	18,944.00	¥51,187	1,829.00		0.00	¥0	900.00	5	4,500.00	¥12,159
純米にごり天領(箱なし)	300 ml	580.00	13	7,540.00	¥20,373	849.00		0.00	¥0	500.00	20	10,000.00	¥27,020
合 計			105	144,546.00	¥390,563		14	27,292.30	¥73,744		78	114,708.00	¥309,941

※ｷｭﾋﾞﾃｰﾅｰとは・・・18Lや20L入の業務用飲料を入れるのに適したビニル製の立方体型の容器。
軽くて丈夫なため飲料や液体の運搬用容器として利用される。

12月の販売実績の特徴

①西山酒造の「路上有花」は高い評価を受けている日本酒が、低価格志向の強いスーパーでの売上は今一つ振るわなかった。

②しかしながらこの日本酒を取り扱っている市内高級レストランの記事が12月に掲載された(次項に詳細)ため、今後のレストランを中心とした業務販売への拡大に期待したい。

③300mlの小瓶のタイプの売上が堅調に推移している。商品規格を小型化して販売単価を下げて、試しに購入してもらう戦略が新興市場では効果があると感じた。

④300mlの小型の商品規格は、今回の取り扱いでは"にごり酒"のみで、清酒はなかった。試飲の際には清酒のほうが高評価のため、メーカーには今後、海外向けに小型規格の商品化を期待したい。

4-1. モスクワ12月　試飲フェアーの状況
（西山酒造（兵庫県））

開催日時：12月24日（金）17:00—19:00
開催場所：日本食スーパー“ジャプロ”
アピール対象商品：西山酒造　小鼓「路上有花」、小鼓「純米吟醸」
来場者数29人⇒試飲者数24人⇒購入者数3人

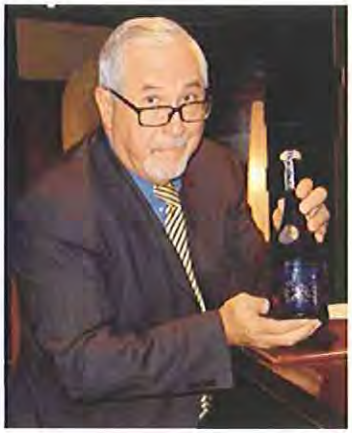
今回は来場者の中に事前にHPの告知や、普段から店を利用しており告知をみて、フェア目的に来場した人が多かった。また、日本にいったことがあるという人や、日本文化に興味を示している来場者は、展示のパネルや他の商品をじっくり見ており、滞留時間が長かった。

酒造りの工程興味を示し、詳しく聞いてきた人もおり、展示のパネルを使って、説明も行った。

商品紹介のリーフレットを作成し、商品紹介。

常設のパネルにて日本酒の製造工程にてついて説明を行い、日本酒への普及啓発を行った。

そして、お買い上げ。



●小鼓”路上有花”が地元紙に掲載

モスクワの超高級レストラン“MEGU”にて

モスクワの地元紙にレストラン“MEGU”への取材記事が掲載され、その中で今月、販売拠点で注力している西山酒造の小鼓「路上有花」についてのコメントがあった。

モスクワでも最高ランクの富裕層が来店している同レストランで最も飲まれている酒で、150mlのグラス一杯の料金が3,000ルーブル（日本円で8,100円）という価格で来店客にふるまわれていた。

モスクワの他の日本食レストランでも、このような最先端の高級日本食レストランが、どのような食材・酒を取り扱っているかを熱心に研究していることから、今後の他の日本食レストランでの取り扱いに期待したい。

4-2. サンクトペテルブルグ12月
（試飲フェアーと販売員への研修）

・開催日時：12月24日（金） 14:00—15:00（販売員への研修）
18:00—20:00（試飲フェアー）
・開催場所：スーパー“レンド”（ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾙ“ｶﾞｰﾃﾞﾝｼﾃｨ”内）
・アピール対象商品：西山酒造　小鼓「路上有花」、小鼓「純米吟醸」
・来場者数：38人
・試飲者数：25人（車での来店者が多かったため）
・購入本数：1本（1人）

（販売員への研修）

これまでの販売実績やフェアーの実施状況を考慮した結果、サンクト・ペテルブルグはモスクワと比較して、日本食・酒などの認知度が低いとの認識から、販売員への商品説明を行うための研修会を行った。

対象としたのはチェーン全店舗の日本食コーナーの販売員であった1号店のコンセルジュ（購入客に付き添って一緒に店内を回り欲しいものを見つける）と部門販売責任者と販売員、2号店の部門販売責任者、会場となった店舗の副店長、仕入の責任者、販売員（担当部門を問わず）4名を含10名。レンド社長と店長は一部参加。

レンドは市内及びその近郊の富裕層が買い物に来るスーパーとして知られているが、実際にそこでの販売を行っている店員は、中間の所得層であるため、日本酒自体を飲んだ経験もない販売員もいた。

そのようなことから研修会は必要不可欠と判断した。

販売員等は、いままでにこのような商品説明を聞く機会に恵まれたことがないらしく、興味深く説明を聞いていた。

また参加者した販売員の代表的なコメントとして「日本の食品や酒のことがわかった。また自分が実際に飲んでみても美味しかったことから今後は自信を持って来店したお客さんに進めることができる」とのことで教育の重要性を改めて認識した。

（試飲会の様子）

（試飲フェアー）

サンクトペテルブルグは高緯度にあり、夜のような状態がつづくが、クリスマスの日（ただしロシア正教のクリスマスは1月7日）だっただけに来店客は多かった。

試飲した人から最もよく聞かれたコメントは「酒は温めて飲むものと考えていた。今回のように冷やして飲むのは初めてだったが、冷えた高級ワインようで美味しい」という意見である。 原料が米と聞いて、「どうしてこんなフルーティーな風味になるのか不思議だ。日本の技術はやはり素晴らしい。」と日本を称賛するコメントあった。

一方で「輸入アルコール飲料の中でワインを好んで飲んでいるが、この日本の酒はワインのように気軽に家で飲める酒の価格ではない。」と価格面で購入に至らないコメントもあった。

店舗側からは、クリスマスや国際婦人デー（3月8日）など催事の前に売れる類の酒だから地道に売っていきたいとのコメントがあった。

5. 次月（1月）の活動計画

いよいよ新たな年がスタートする。
一般にロシア仕事始めは1月10日であり、スーパーでもレストランでも1年で最も売り上げの少ない月であるが、新たな商品を投入し、更なる潜在需要の掘り起こしを行い、日本の酒類の認知度を高めていく。
1月は、市場性がありロシア側の前評価の高かった下記の4つ醸造メーカーの酒類の紹介を行う。

①火の国酒造（熊本県）

②白瀧酒造（新潟県）

③尾畑酒造（新潟県）

④白相酒造（栃木県）